

# 麻疹（はしか）に注意しましょう！

北海道帯広保健所

今年の春から関東地方を中心に麻疹が流行していますが、この度、十勝地域でも新たな患者の発生が確認されました。麻疹は感染力が強く重症化することもあるので、ワクチンを接種していない方やこれまでにかかったことのない方（特に乳幼児や若い方）は十分に注意しましょう。



## 麻疹とは？

麻疹は、一般には「はしか」と呼ばれているウイルス性の感染症です。感染力が非常に強く、入院するような重症例もみられます。患者の多くは、予防接種を受けていない1歳前後の乳幼児ですが、最近では成人の患者も増加しています。

## 感染経路は？

感染者からのせきやくしゃみなどで、ヒトからヒトへ感染（飛まつ感染）し、時には、空気感染もします。また、感染した人の90%以上が発病します。



## 臨床症状は？

10日前後の潜伏期間のあと、発熱（38前後）、せき、鼻水などカゼのような症状が3日ほど続きます。（この時期の感染力が最も強いと言われています。）その後、口の中に、コプリック斑とよばれる白い斑点が見られます。熱はいったん下がってから再び上昇し、40前後の高熱とともに、赤い発疹が首の後ろからあらわれ、全身に広がります。約1週間で治まりますが、肺炎などの合併症を起こすこともあります。

## 治療方法は？

解熱剤、せき止めなどの対症療法が主な治療法です。

## 感染予防方法は？

定期の予防接種を受けましょう。麻疹ワクチン接種を受けていない方や麻疹にかかったことのない方にも麻疹ワクチンは効果がありますが、過去に麻疹ワクチンの接種を受けた方も、10年程度経過すると効果（抗体）が弱まっていることがあります。十分な免疫があるかどうかは、抗体検査を受けるとわかりますので医療機関に相談すると良いでしょう。日ごろから十分な栄養や休養をとりましょう。手洗い、うがいをして、清潔を保ちましょう。



## 麻疹かな？と思ったら

発熱、せき、発疹などの症状が出た時には学校や仕事を休み、他の人にうつさないよう、マスクをして早めに医療機関を受診しましょう。麻疹患者さんとの接触があった場合は、受診の前にそのことを電話などで伝えておきましょう。過去に麻疹ワクチン接種を受けた方には発疹などが出ないこともありますので、症状だけで判断せず、かかりつけ医などに相談しましょう。学校保健法では、解熱後3日間はお休みが必要な疾病として定められています。

## 医療機関の方へのお願い

麻疹の患者さんを診断した際には、保健所あて御連絡くださるようお願いいたします。

連絡先 北海道帯広保健所健康推進課保健予防係  
〒080-8588 帯広市東3条南3丁目1番地  
TEL 0155-27-8637（夜間・休日：0155-26-9005）  
FAX 0155-25-0864